

2026年3月期 第1四半期 決算概要

2025年8月8日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証スタンダード)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

■ 2026年3月期 1Q決算概要

2026年3月期 1Q決算ハイライト

日本の受注状況は低迷中だが、中国の自動車関連の受注好調もあり、増収増益

売上	連結	連結売上高は、前年同期比105.3%、5億円増の101億円
	日本	前年同期比91.1%の26億円 飲料関連は好調だが、特に自動車関連の落ち込みの影響大
	中国	前年同期比111.9%の60億円 自動車関連の受注が増加しており増収
	東南アジア	前年同期比110.0%の4億円 ベトナム、マレーシアは好調、インドが不調
	欧米他	前年同期比109.0%の9億円 欧州・米州ともに好調
利益		営業利益は、前年同期比126.5%の384百万円 経常利益は、前年同期比94.4%の338百万円 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比101.1%の145百万円
ネット資金		配当及び賞与支給等により、期首から842百万円減少

- 2026年3月期 1Q決算ハイライト
- 売上面では、日本の受注状況は低迷中だが、中国の自動車関連の好調な受注もあり、増収
- 一方、利益面では、中国での増収効果が貢献し、連結で増益を確保

損益計算書サマリー(1Q比較)

(単位:百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	前年同期差	前年同期比
売上高	9,660	10,171	511	105.3%
営業利益	3.1% 303	3.8% 384	80	126.5%
経常利益	3.7% 358	3.3% 338	▲ 20	94.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1.5% 143	1.4% 145	1	101.1%

【為替レート(実績)】 1人民元=20.98円/1USドル=152.95円

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

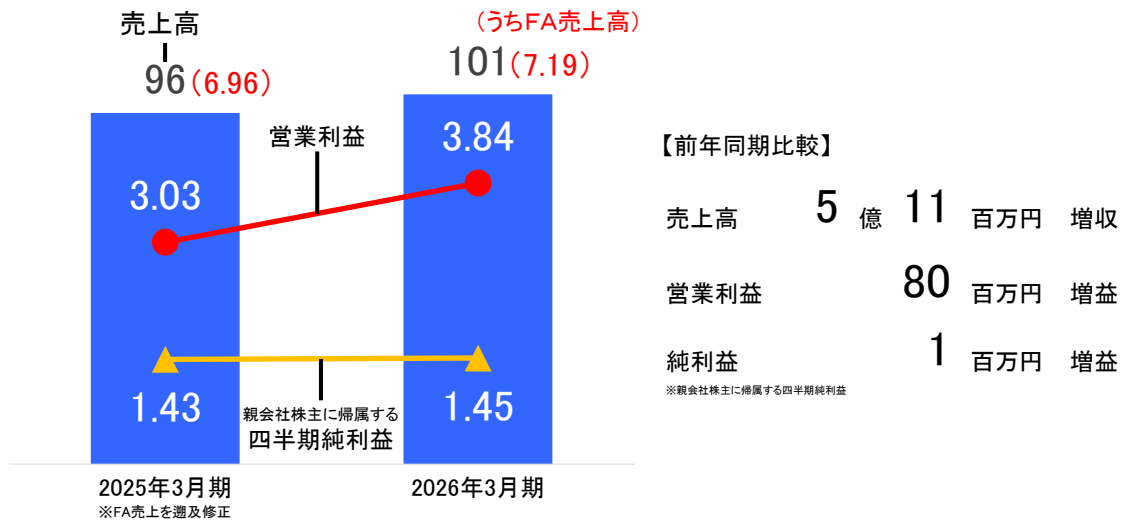
© PUNCH INDUSTRY

2

- 決算数値の概要
- 売上高は101億71百万円で前年同期比105.3%、5億11百万円の増収
- 営業利益は3億84百万円、経常利益は3億38百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億45百万円
- 為替レート(実績): 1人民元=20.98円/1USドル=152.95円

売上高と利益(1Q比較)

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

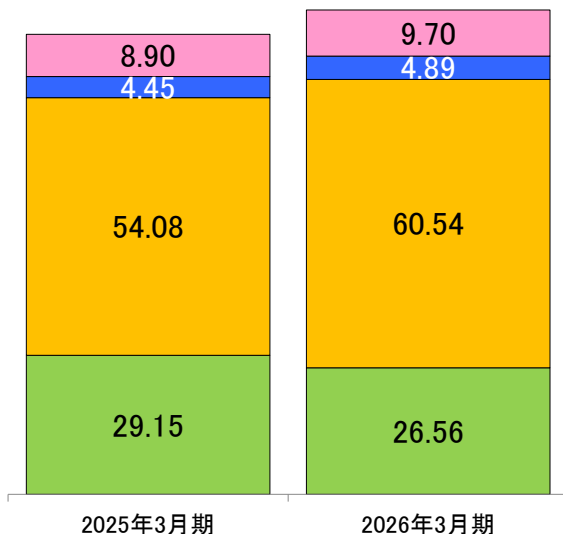
© PUNCH INDUSTRY

3

- 2025年3月期と2026年3月期の売上高・利益比較(1Q)
- FA売上含め前年同期の数値と比較して、増収増益
- 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

地域別売上高(1Q比較)

(単位:億円)



中国では自動車関連の受注が好調に推移
欧米他も好調に推移

欧米他 欧州・米州ともに好調

東南アジア ベトナム、マレーシアが好調

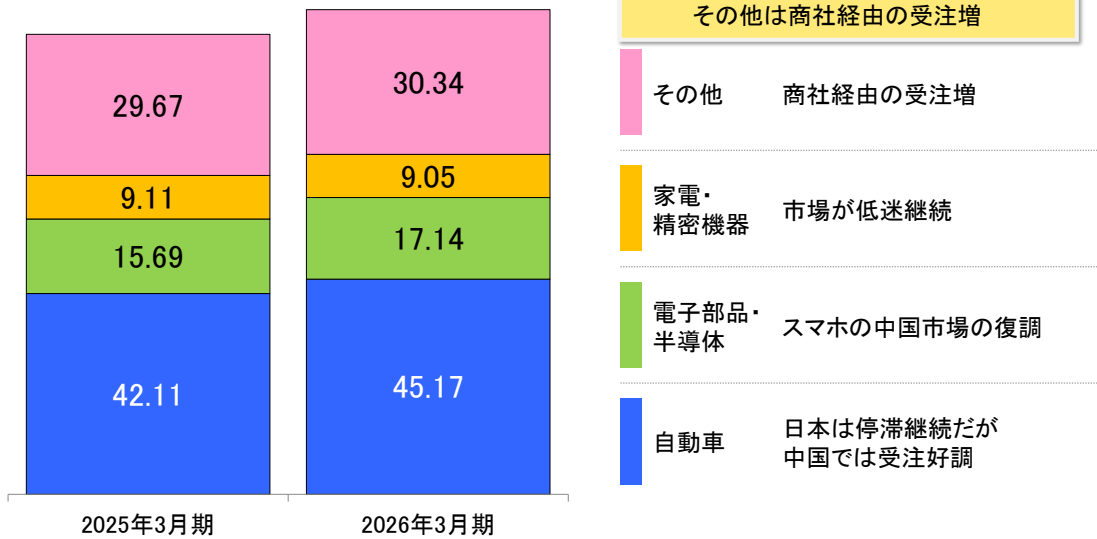
中国 自動車関連が好調継続

日本 飲料関連のみ好調

- 2025年3月期と2026年3月期の地域別売上高比較(1Q)
- 日本が前年同期を下回った一方、中国・東南アジア・欧米他が前年同期を上回る実績
- 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

業種別売上高(1Q比較)

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

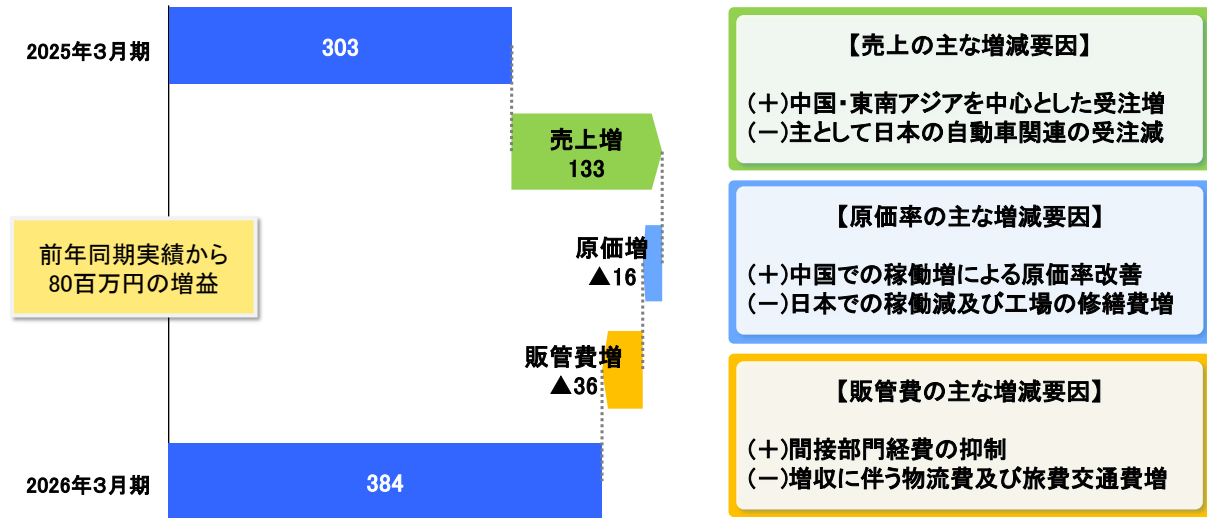
© PUNCH INDUSTRY

5

- 2025年3月期と2026年3月期の業種別売上高比較(1Q)
- 自動車関連は、日本では引き続き停滞しているが、中国での受注は新車プロジェクト等の影響もあり、好調に推移
- 電子部品・半導体関連は、中国のスマホ向け市場が復調気配
- 家電・精密機器関連は市場全体が低迷しているものの、為替の影響もあり、ほぼ横ばい
- その他は商社経由の受注増
- 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

営業利益増減(1Q比較)

(単位:百万円)



■ 2025年3月期と2026年3月期の営業利益の増減分析(1Q)

- 前年同期の営業利益3億3百万円に対して、売上増による1億33百万円の増益効果

原価率は、中国での受注好調に伴い稼働改善があったものの、日本での稼働が良化していないこともあり、16百万円の粗利減

販管費は、引き続き間接部門の経費抑制に努めているものの、増収に伴う物流費及び旅費交通費の増加もあり、36百万円の減益影響

- 結果、2026年3月期1Qの営業利益は、前年同期から80百万円の増益となり、3億84百万円を計上

貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2025年3月期末	2026年3月期 第1四半期末	比較増減
総資産	32,970	30,751	▲ 2,218
総負債	10,931	10,040	▲ 890
うち有利子負債	3,101	2,754	▲ 346
純資産	22,038	20,710	▲ 1,327
ネット資金	3,393	2,551	▲ 842
自己資本比率	66.7%	67.2%	0.5pt

	2025年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	210	179	▲ 30
減価償却費(無形固定資産含む)	293	292	▲ 1

- 貸借対照表サマリー
- 総資産は、主として現金及び預金の減少等により、22億18百万円の減少
- 総負債は、主としてその他流動負債の減少等により、8億90百万円の減少
- 純資産は、主として為替換算調整勘定の減少等により、13億27百万円の減少
- 上記の結果、自己資本比率は前期末から0.5ポイント上昇し、67.2%
- 設備投資額は、省力化・自動化投資への絞り込みを行ったこともあり、前年同期から30百万円減少の1億79百万円

2026年3月期 第2四半期累計期間の業績予想を修正

(単位:百万円)

	2025年3月期 第2四半期 (実績)		2026年3月期 第2四半期累計期間				
			前回予想		修正予想		前年同期差 (前年同期比)
売上高	19,989		19,950	20,500	510 (102.6%)	550 (102.8%)	
営業利益	3.5% 692	2.4% 480	3.9% 800	107 (115.5%)	320 (166.7%)		
経常利益	3.0% 606	2.3% 460	3.7% 760	153 (125.4%)	300 (165.2%)		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1.1% 212	0.1% 15	1.2% 240	27 (113.0%)	225 (1,600.0%)		

【為替レート】 1人民元=20円53銭/1USドル=149円01銭

PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

© PUNCH INDUSTRY

8

- 2026年3月期の2Q累計期間の連結業績予想
- 1Q連結業績は、米州の関税影響を受けて全般的に設備投資需要に慎重な姿勢が見られた一方、主として中国事業等の海外事業が好調に推移し、業種別では自動車関連及び電子部品・半導体関連の受注が増加しており、当初計画を上回る業績で推移
- 2Q連結業績予想は、1Qから引き続き、中国事業での自動車関連の受注が好調に推移する見通しであることから、売上高及び利益を上方修正

2026年3月期 通期連結業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2025年3月期 (実績)		2026年3月期 連結累計期間			
			前回予想	修正予想	前期差 (前期比)	前回予想差 (前回予想比)
売上高		40,822	39,880	41,100	277 (100.7%)	1,220 (103.1%)
営業利益	4.1%	1,685	2.9% 1,150	3.4% 1,400	▲ 285 (83.1%)	250 (121.7%)
経常利益	4.0%	1,613	2.8% 1,130	3.3% 1,350	▲ 263 (83.7%)	220 (119.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	2.1%	868	0.5% 180	0.7% 300	▲ 568 (34.5%)	120 (166.7%)
自己資本利益率(ROE)		5.4%	1.1%	1.8%	▲ 3.6pt	0.7pt
投下資本利益率(ROIC)		6.0%	4.0%	4.9%	▲ 1.1pt	0.9pt
2026年3月期 配当予想	18円26銭(予定) = 中間 9円13銭 + 期末 9円13銭					

【為替レート】 1人民元=20円37銭/1USドル=147円07銭 【設備投資】 設備投資額:14億円 減価償却費:11億円

■ 2026年3月期の通期連結業績及び配当の予想

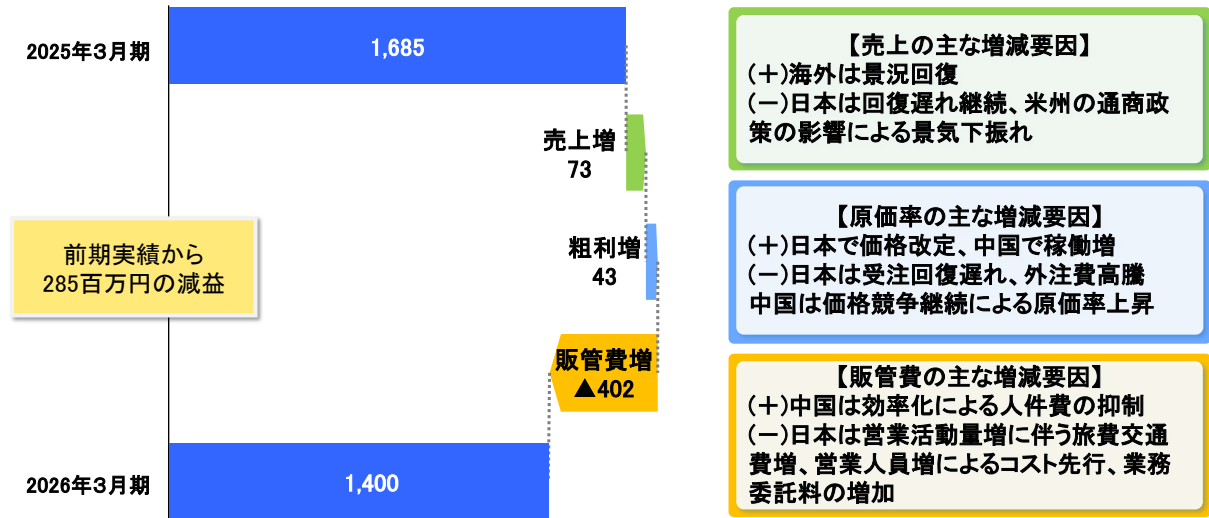
- 通期の連結業績予想は、2Q累計期間の上方修正分に加え、想定為替レートを円安方向に修正したことで増収となった一方で、国内事業での営業及び生産体制の再構築の遅れ等も勘案した上で、売上高及び利益を上方修正

想定為替レートは、修正前の1人民元=19円50銭から20円37銭、1USドル=142円00銭から147円07銭と変更

- 配当予想は、株主資本配当率(DOE)3%をベースに算定した結果、年間で前回予想から14銭増となる18円26銭となる見込み
- 設備投資計画は約14億円、減価償却費は約11億円を見込んでおり、変更なし

営業利益増減(2026年3月期の業績予想)

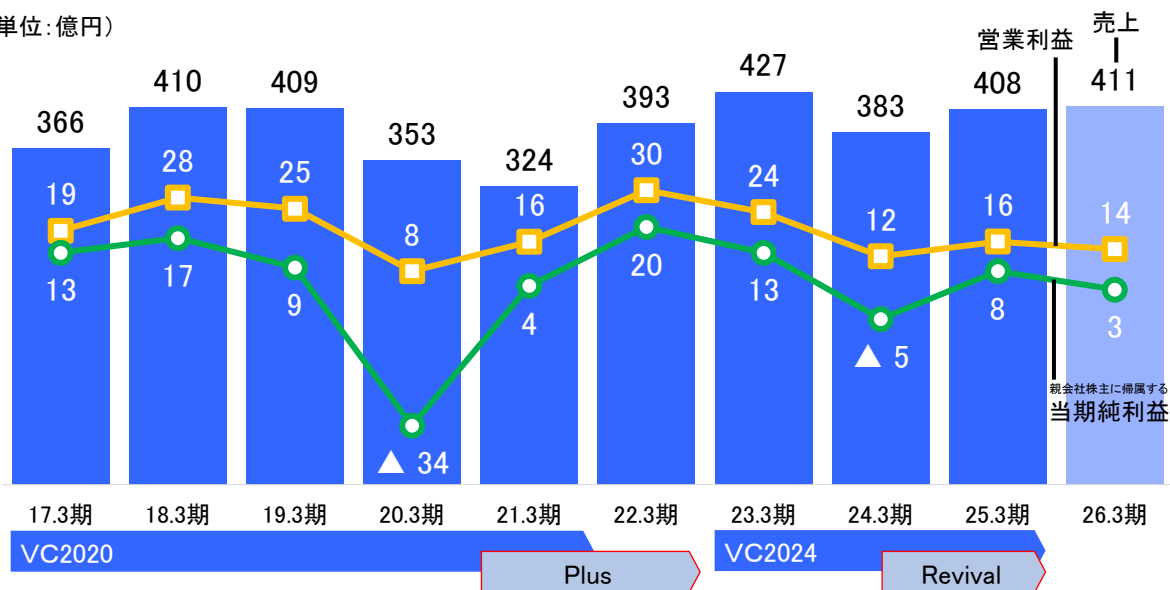
(単位:百万円)



- 2025年3月期と2026年3月期(予想)の営業利益の増減分析
- 日本事業においては、引き続き、経営合理化後に早期希望退職対象外の退職者が想定外にでた影響が継続しており、体制整備にはもうしばらく時間を要する状況
そのため、営業体制再構築までの間、人員増によるコスト先行が予想されており、これが業績悪化の主要因
- 売上は、期初計画段階で減収を見込んでいた中国や東南アジアの市況が回復していることから、現地通貨ベースで増収見込みに転じ、更に為替の影響もあり、営業利益へのプラスインパクトが73百万円
- 原価は、国内の外注費高騰、中国の価格競争継続などによる原価率上昇を見込んでいるものの、国内での価格改定や中国での工場稼働改善による営業利益へのプラスインパクトが43百万円
- 一方、増収に伴う変動費増加や国内の営業人員増などによる販管費増加が4億2百万円
- 営業利益は、前期の16億85百万円から、2億85百万円減益の14億円を予想

経営数値の推移

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

© PUNCH INDUSTRY

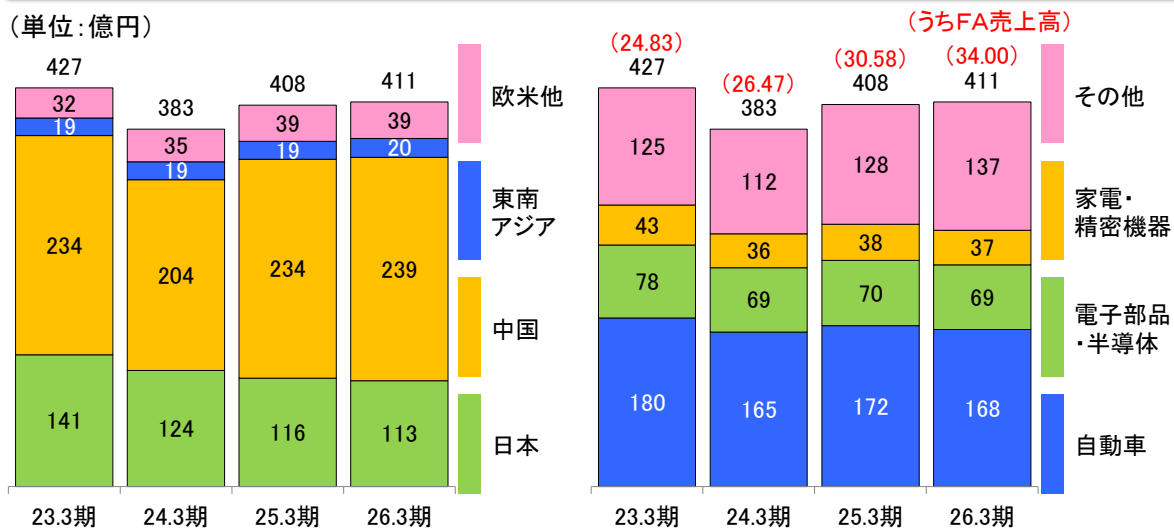
11

- 直近の中期経営計画期間中の売上・営業利益・当期純利益の推移をグラフ化
- 大きな特別損失を計上した2020年3月期からは回復傾向にあるものの、日本事業の立て直しが急務だと認識しており、各種の取組み強化や改革のスピードアップを目指す

地域別・業種別売上(FA含む)の推移

日本は営業人員不足による受注低迷継続、海外は景況回復基調も為替影響もあり連結では減収予測

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

© PUNCH INDUSTRY

12

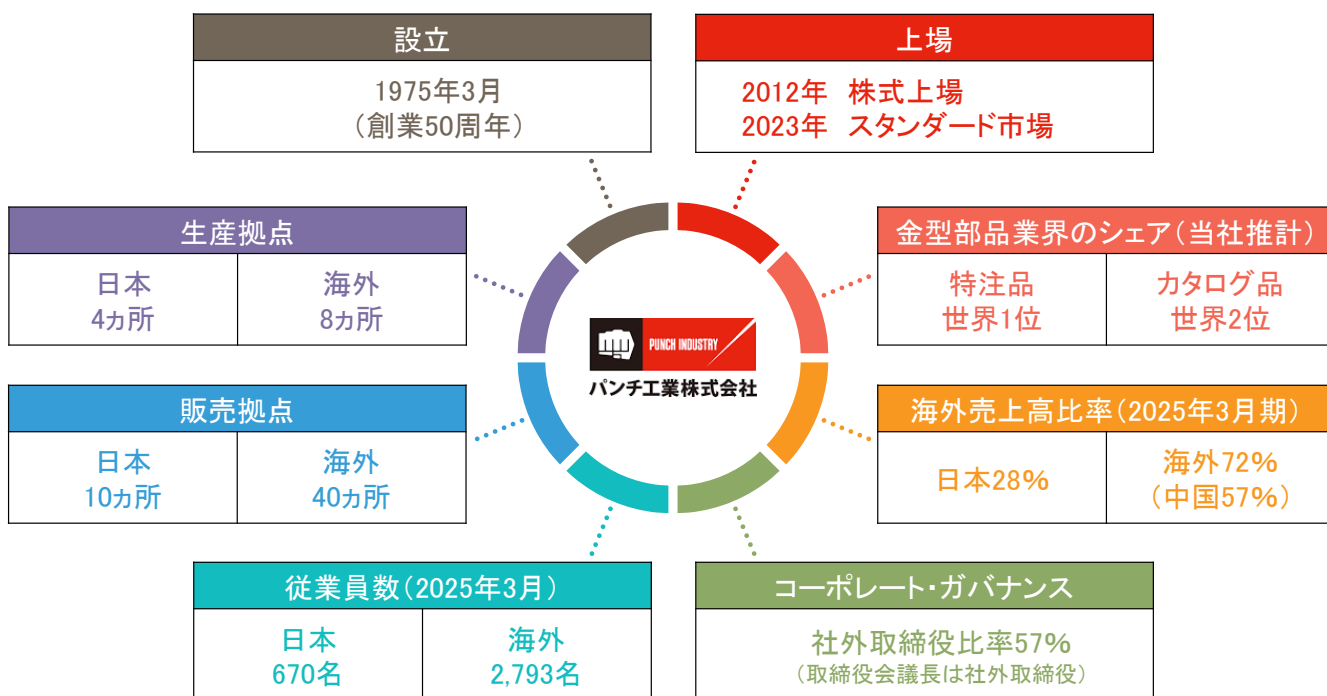
■ 2026年3月期の地域別・業種別売上の内訳(FA売上含む)

参考資料

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

- 各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。
- 中期経営計画及び長期ビジョン「Vision60」
 - https://www.punch.co.jp/ir/med_management.html
- 決算短信
 - <https://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>
- 決算説明資料
 - <https://www.punch.co.jp/ir/library/setsumei.html>
- IRニュース一覧
 - <https://www.punch.co.jp/ir/2025/>

ひと目でわかるパンチグループ



マネジメント体制

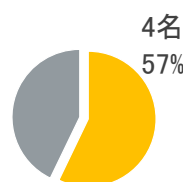
代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日	職歴
 森久保 哲司 (1977年1月22日)	2003年5月 当社入社
	2005年2月 盤起工業(大連)有限公司
	2012年11月 バリュー・クリエーション推進室長
	2013年4月 経営企画室長
	2015年4月 PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
	2016年5月 執行役員
	2018年6月 取締役 上席執行役員 経営戦略統括
	2019年4月 最高戦略責任者 グループ事業統括
	2019年6月 代表取締役(現任) 副社長執行役員
	2019年11月 社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

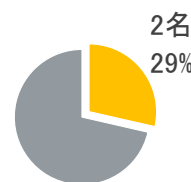
取締役体制

取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO)	高梨 晃
	社外取締役	高辻 成彦
取締役 (監査等委員)	社外取締役 取締役会議長	大里 真理子
	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄
	社外取締役(監査等委員)	田畑 千絵

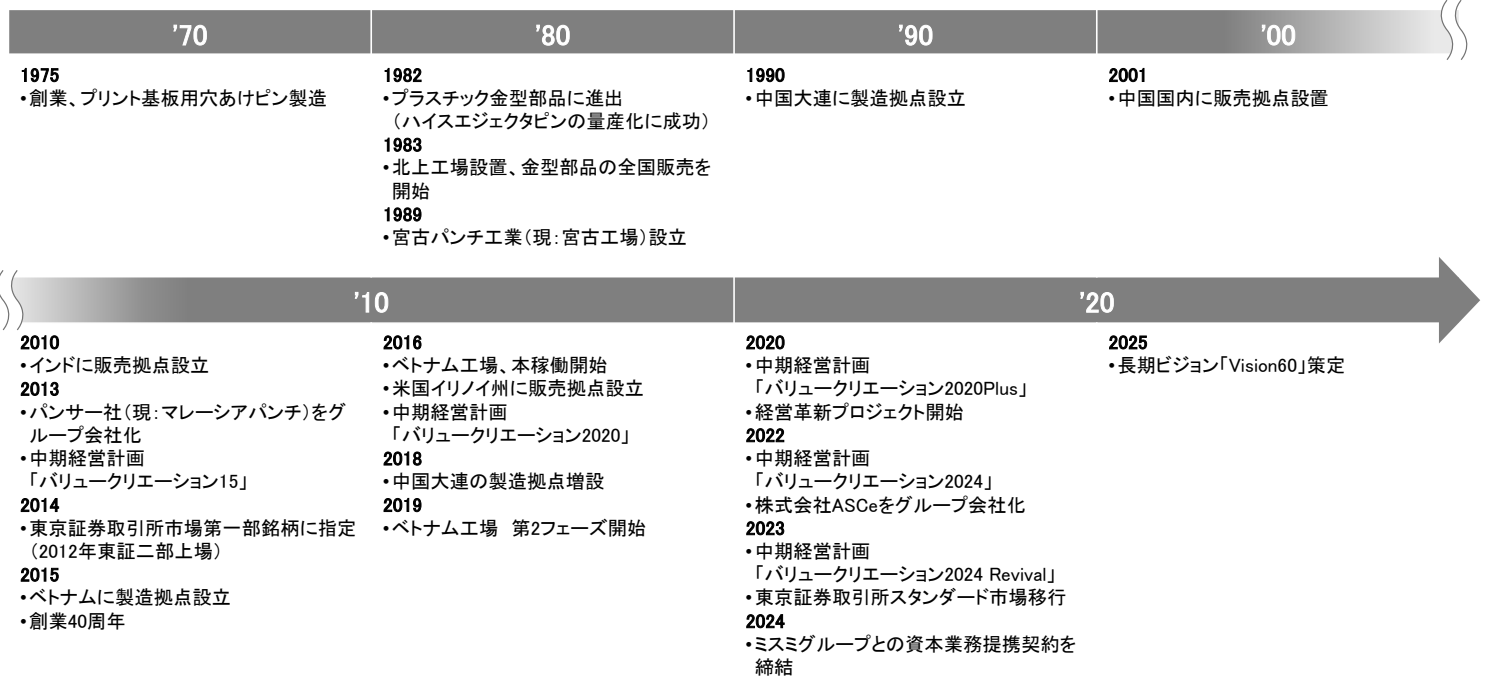
社外取締役比率



女性取締役比率

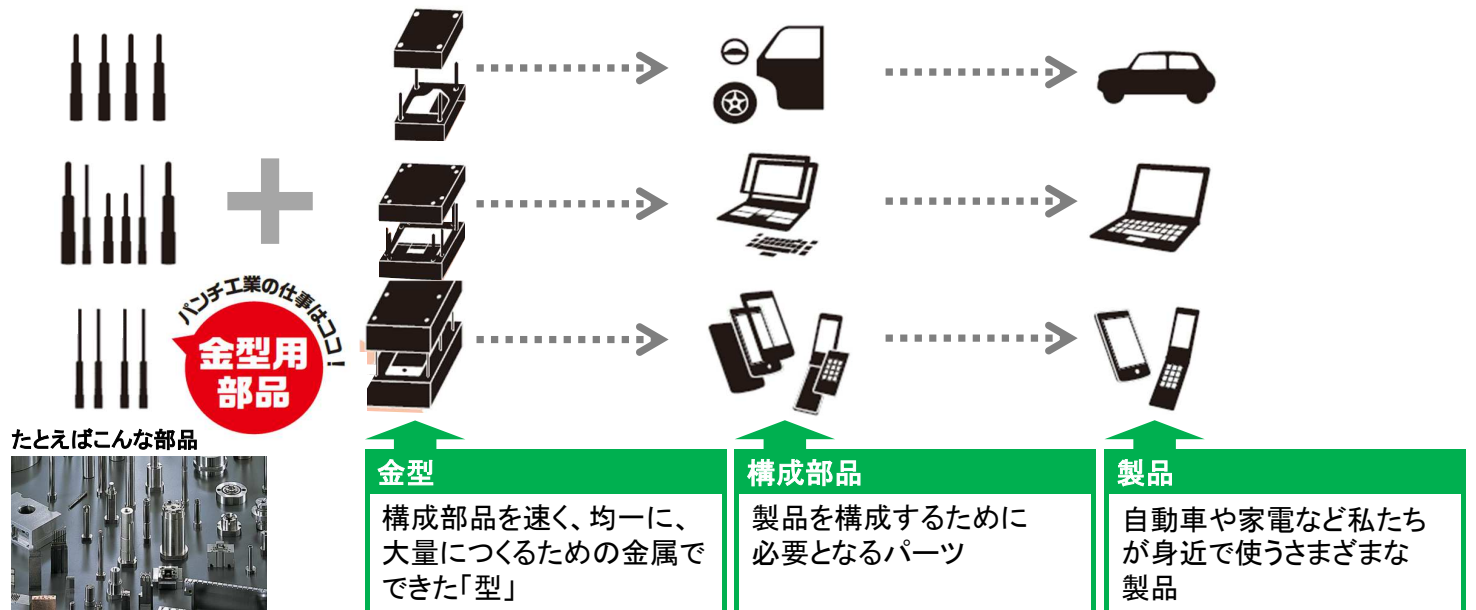


パンチグループ沿革



事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品
ものづくりの上流から下流までお取引

プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品(押し出しピン)です。



主要な製品

コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分を成形したり、製品部に彫刻をします。

プレス金型部品

プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の中に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができ上がります。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



主要な製品

ホルダーガイドポスト関連

上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。

パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ & カスタムニーズにも対応する特注品
世界の「ものづくり」を支える

パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供

日本・中国

特注金型部品シェア1位 ※当社推計

カタログ品

汎用性の高い標準製品を豊富にラインアップ



タイムリーで的確なソリューション

一気通貫の生産体制
2,000台の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制
きめ細かな対応・提案力

特注品

カスタムニーズにも柔軟に対応

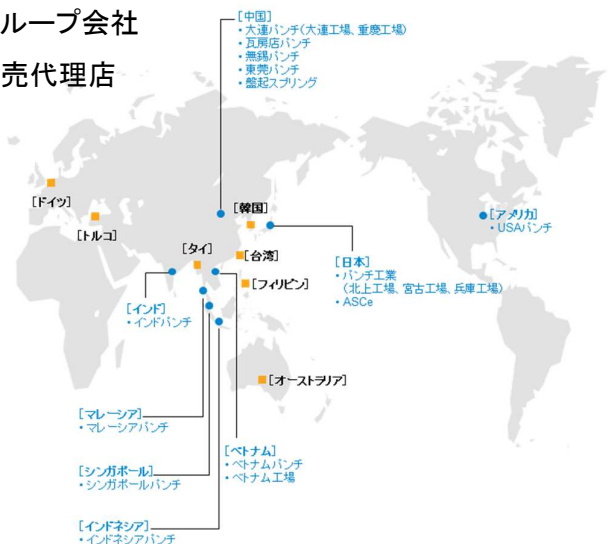


高い技術力
創業以来培ったノウハウと
たゆまぬ研究開発

パンチグループのネットワーク

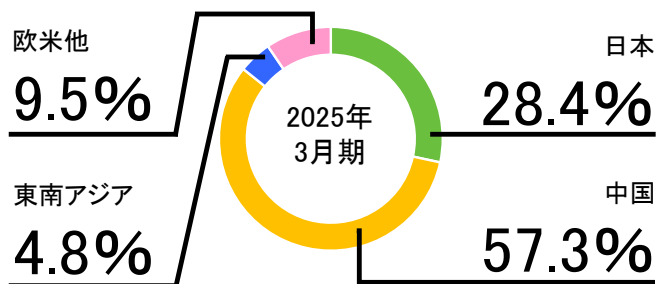
グループ会社

販売代理店

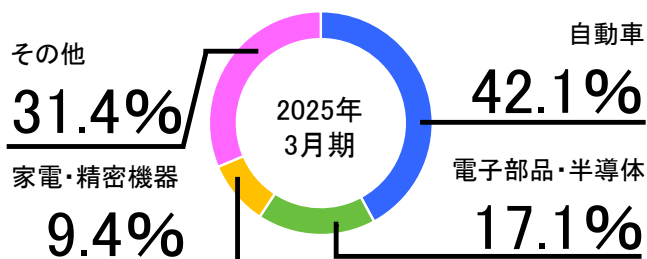


地域別・業種別売上高構成比

地域別売上高構成比

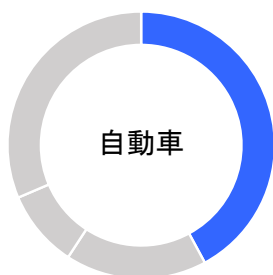


業種別売上高構成比



業種別の主要顧客

日本での主な競合先: 大手総合機械商社、地場金型加工メーカーなど
 中国での主な競合先: 中華系機械商社、中華系機械メーカーなど



主要顧客

自動車メーカー
 及びTier1,2
 金型メーカー



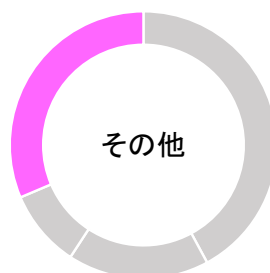
主要顧客

電子部品メーカー
 半導体装置メーカー
 金型メーカー



主要顧客

家電メーカー
 金型メーカー

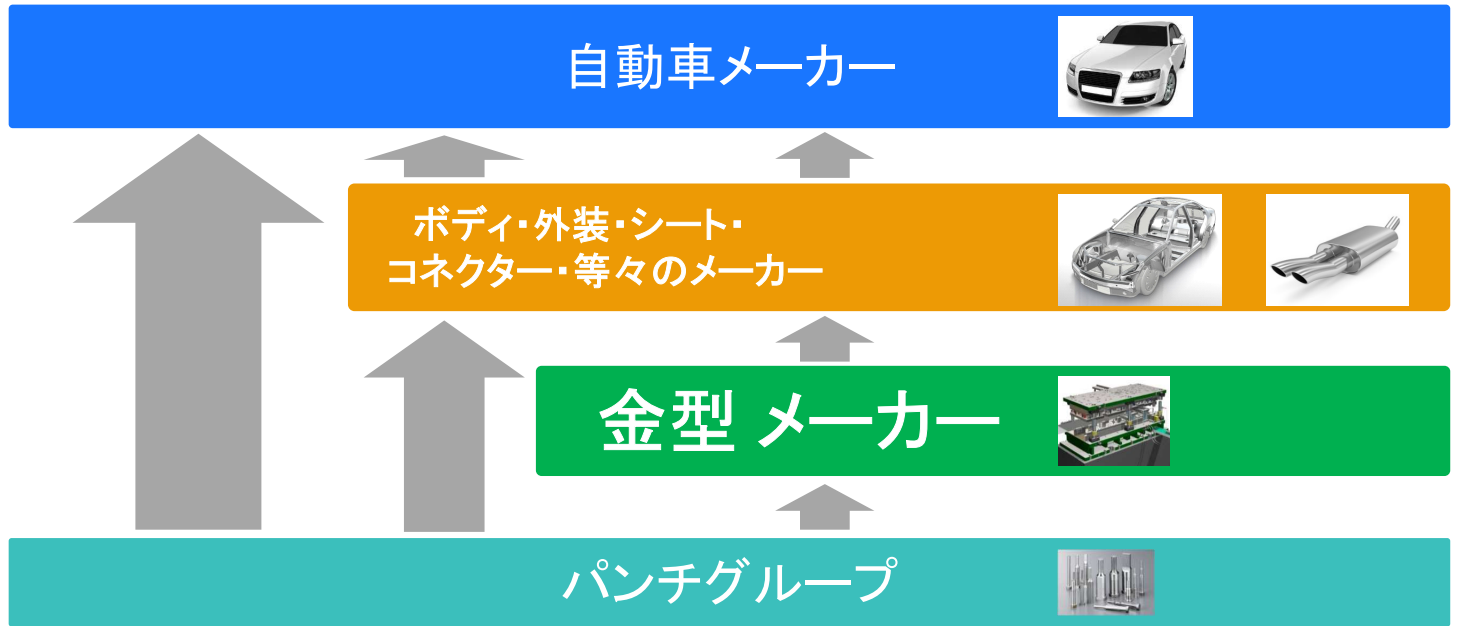


主要顧客

文具メーカー
 玩具メーカー
 医療メーカー
 飲料容器メーカー
 グローバル商社
 金型メーカー

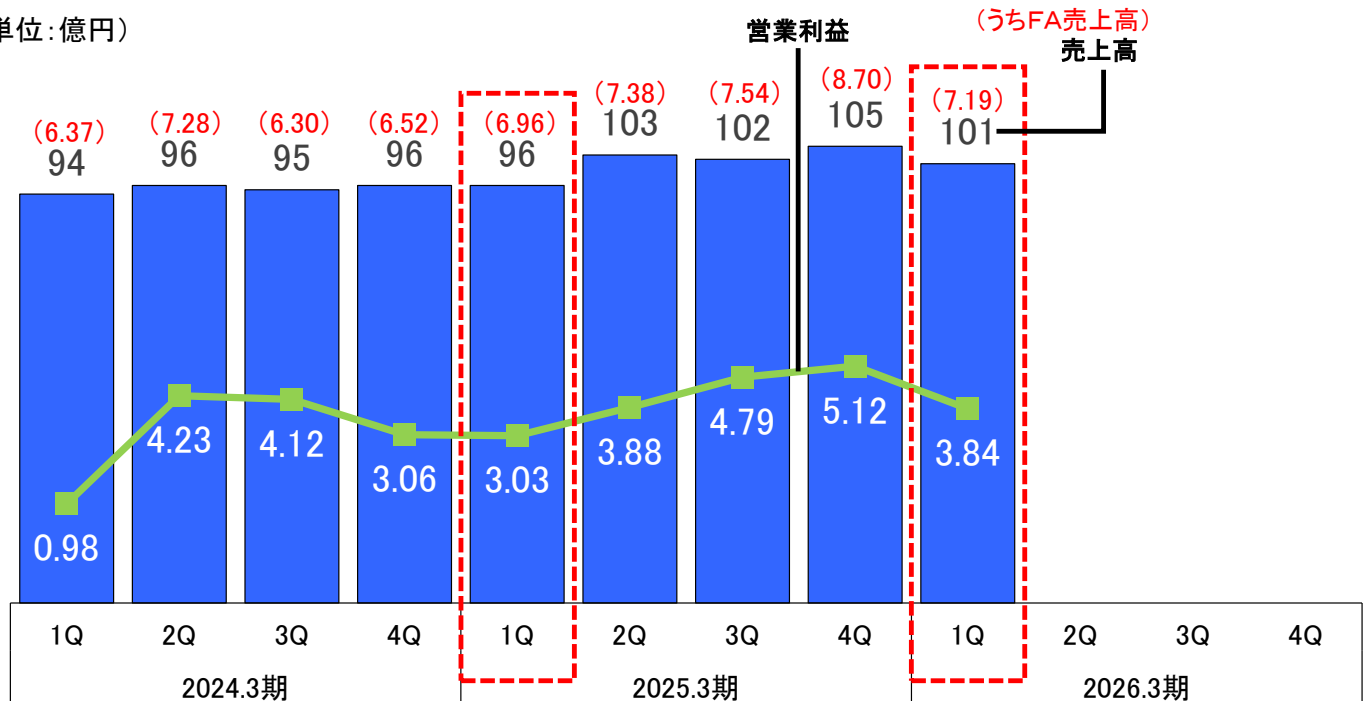
エンドユーザーのイメージ（例：自動車関連）

大多数のエンドユーザーは金型メーカー



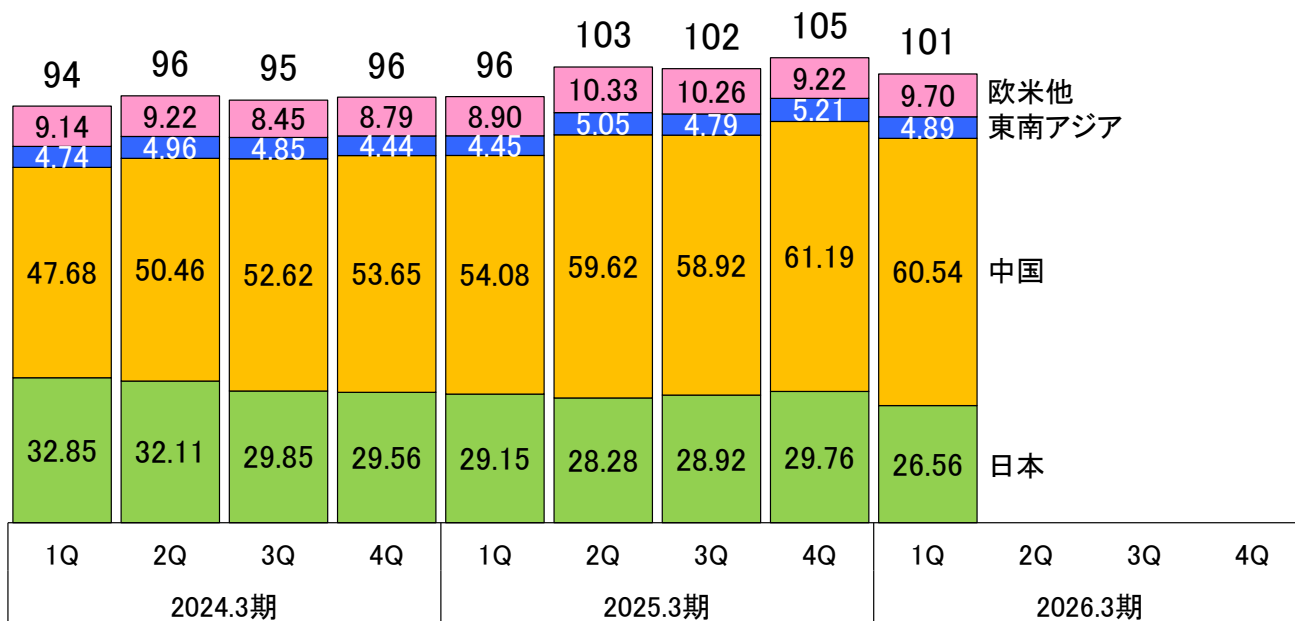
売上高と営業利益の推移

(単位:億円)



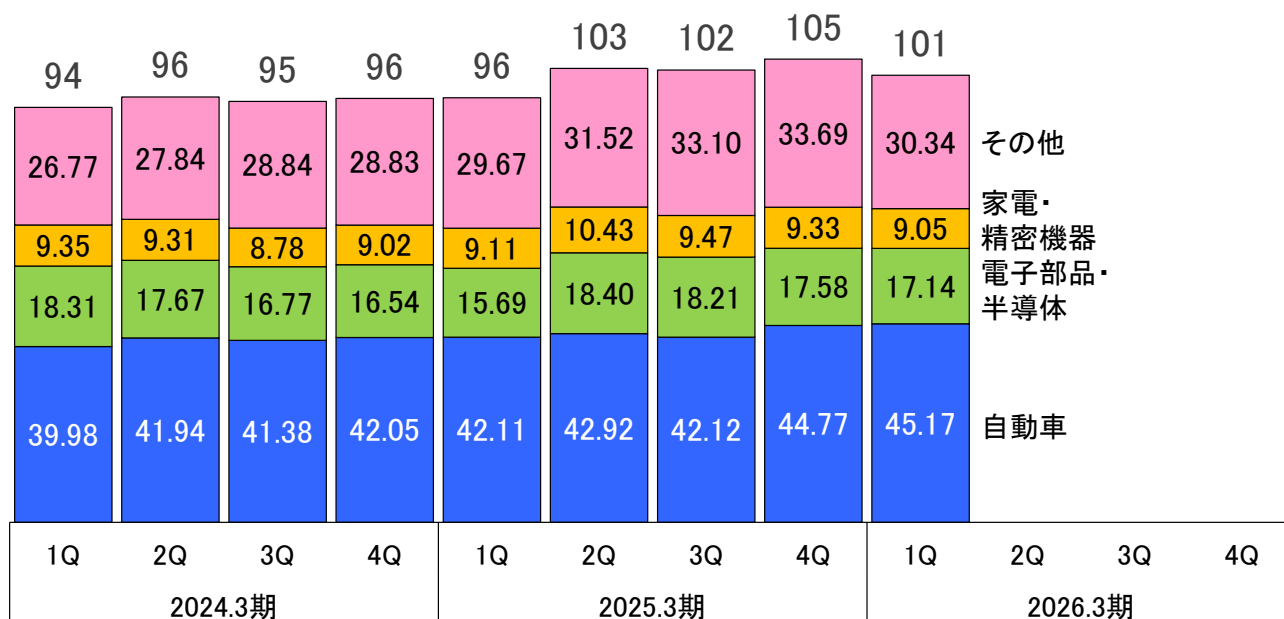
地域別売上高

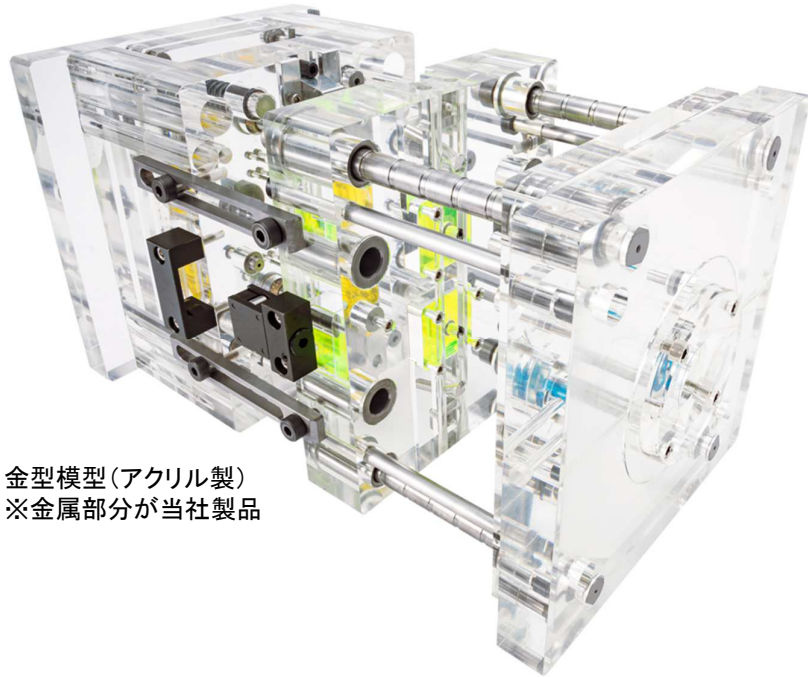
(単位:億円)



業種別売上高

(単位:億円)





金型模型(アクリル製)
※金属部分が当社製品

【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 コーポレート・コミュニケーション室 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。